

狛江市育ちの森へようこそ

狛江市育ちの森には、子育てを通して助け合い、支え合うことのできる出会いがたくさんあります。森に迷ったら道をたずね、疲れたらときに休憩し、この森で仲間づくりを楽しんでください。子育ての上での困りごとや、障がいのある心配があるとき、どこに頼ればいいのかを、育ちの森（「狛江市内の支援が必要な子どもにかかわる支援ネットワークマップ」）として一覧にしました。詳しいことは裏面記載の連絡先かホームページでお問い合わせください。

世田谷児童相談所

18歳未満の子どもに関する相談を広域で受け付けます。

救急・休日診療

夜間や休日の子どもの急病も受診できます。小児初期救急平日夜間診療、休日応急診療所、休日歯科応急診療所、休日診療薬局があります。

子どもの発達相談

発達のこと、友だちとうまくかかわれない、障がいがあるかも……そんな心配を相談できます。必要に応じて適切な療育の場を紹介します。

ことばの相談

発音やことばに関する心配ごとをことばの専門家（言語聴覚士）に相談できます。必要に応じて適切な場を紹介します。

子ども発達教室“ぱる”

発音がゆっくり、あるいはアンバランスなどの心配のある乳幼児に楽しい遊びの場を提供し、心身の育ちを促します。保護者もほっとできる場です。

民間の療育・相談の場

障がいのある子どもから青年までの発達支援や、社会的自立をめざす多彩な活動が行われています。

育児学級

生後5～6か月児の保育と離乳食を勉強します。受講中、赤ちゃんを預けられます。

乳幼児健康診査

健やかな育ちを支えるために3～4か月、1歳6か月、3歳を迎えるころ実施されます。グループ活動や個別相談もあります。

むし歯予防

食べ物の入り口のお口の健康は一生を通じてとても大切です。むし歯予防教室、母と子の歯の健康教室などがあります。

ママパパ学級

初めての妊娠は不安なことだらけ。3回シリーズのママパパ学級を受講して、赤ちゃんを迎える準備をしましょう。

育児相談

子育てには心配がつきもの。健康のこと、発育のこと、離乳食のことなど、困ったときは、まず相談を。

こんにちは赤ちゃん訪問

「誕生おめでとう」の気持ちを込めて、助産師か保健師が家庭を訪問します。わからないこと、困ったことは気軽に相談を。

子育てひろば

赤ちゃんづれ、子どもづれいつでも歓迎！年齢別の定期的なグループ活動や親子で楽しめるイベントも。スタッフやお母さん同士で話せばほっとできます。和泉児童館、岩戸児童センターなどで行われています。

子ども家庭支援センター

乳幼児の親子が自由に遊んだり、相談したりできる施設です。どなたも大歓迎です。

わいわいキッズクラブ

ふたごちゃん、みつごちゃんなどを育てているお母さんと子どもたちの交流の場です。

あそびの広場

市内2ヶ所の学童保育所（東野川、猪方）は火水金の午前中、就学前幼児のために開放されています。指導員に子育て相談もできます。（春、夏、冬休み中はお休みです）

保育園・保育室・保育ママ

保護者が働いているなどの理由で家庭で保育することができない就学前のお子さんを預けられます。保育ママ（家庭福祉員）はふつうのお家で、赤ちゃん3人までを預かってもらえる制度です。

保育園の園庭開放

公立、私立園ともに、子どもたちの遊び場、園児との交流、保護者同士の交流や保育園職員への育児相談の場として園庭を開放しています。

中央公民館保育室

お母さんが学習活動をする間、子どもたちを預けることができます。

育児支援ヘルパー派遣事業

出産前後、体調不良のため育児や家事が困難で、代わりにしてくれる人が身近にいない家庭にヘルパーを派遣します。（出産予定日の1か月前から出産日、または、退院後3か月以内の間で15日間）

教育相談室

就学前から小中高生までのお子さんの、心と体の健康、行動、性格、学習、教育上の悩みや心配ごとについて専門の相談員が相談に応じます。事前予約が必要です。

電話相談

相談に行くことを迷っているとき、来所が難しい場合は電話での相談、匿名での相談もできます。お気軽にどうぞ。

発達・ことば相談

ことばの専門家が発音や耳の間こえが心配など、4歳以上のお子さんのことばと発達の心配や悩みについて相談や支援を行います。

就学相談

小学校入学にあたり、お子さんの行動や発達が心配な場合、相談してください。お子さんに合った学習の場を保護者と一緒に考えます。

幼稚園

市内には4つの私立幼稚園があり、3歳から就学までのお子さんが通っています。各幼稚園はそれぞれ特色があります。

狛江すこやか病児保育室

登録をすると、お子さんが病気のときや回復期、病院の2階の家庭的なお部屋で預かってもらえます。

一時保育

出産や病気などでお子さんを家庭でみるのができなくなったときは、一時的に預かってもらえます。保育ママ（家庭福祉員）宅、狛江保育園、認証保育園などで行っています。事前申し込みが必要です。

民間の保育サービス

「狛江市子育てガイドブック」に紹介しています。詳細は各施設にお問い合わせください。一時保育を行っているところもあります。

ゆうゆう教室

なんらかの理由で登校できない児童・生徒を対象にした教室です。ゆったりと心を開いて活動するための場を提供しています。自学・自習を基本にした個別・適応指導等を通じて、学校復帰に向けての指導・援助が受けられます。

ゆうあいフレンド

引きこもり傾向にある不登校のお子さんに対して家庭訪問を行い、本人、家庭、学校のよきパイプ役を果たします。

小学校

市内には6校の小学校があります。

通常の学級

特別支援学級

何らかの支援が必要な子どものための学級です。固定制、通級制の学級があります。詳しいことは、学校教育課（就学相談担当）、教育相談室、各学校におたずねください。

特別支援学校

少人数で基礎から学ぶ必要のあるお子さんや、身体に障がいのあるお子さんのために都立の学校があります。いずれも市外にありますが、居住地の小・中学校との交流の機会（副籍事業）があります。

ファミリーサポート

利用会員になるとサポート会員が保育園の送り迎えをしてくれたり、お子さんを自宅で一時的に預かってくれます。（冠婚葬祭や買い物等）

チャレンジ学級

障がいを持つ青年たちが仲間と集い、くらしを広げていく活動で主として西河原公民館で行っています。

ふれんずシップ

都立特別支援学校（高等部）卒業生の地域での受け皿として、年4回のレクリエーション活動を行っています。またチャレンジ学級との交流会も行っています。

遊びの会

心身に障がいのあるお子さん達が、レクリエーション、スポーツ活動などを行っています。

中学校

市内には4校の中学校があります。

通常の学級

特別支援学級

小学校と同様に、固定制、通級制の学級があります。

外出・移動支援

障がいのあるお子さんの外出を支援します。利用には条件があります。

地域センター

地域センターには図書室などもあり、自由に本を読むことができます。友だちと集まって宿題をしたり、静かに遊べるスペースがあるセンターもあります。各センターでは様々なサークルが活動しています。

児童センター・児童館

小学生、中高生などのさまざまなプログラムがあります。

放課後子ども教室（フリープレイ）

登録すると、帰宅せずに学校の校庭等で遊べます。安全管理員の見守りがあります。

学童クラブ

保護者が就労している小学生が放課後を過ごすための場所が3種類（学童保育所、小学生クラブ、放課後クラブ）あります。障がいのあるお子さんも預けられます。それぞれ特色があります。

子どもショートステイ

保護者が病気や冠婚葬祭などの際に連続7日間まで（宿泊可）子どもを預かってもらえます。2歳から12歳まで。場所は調布の二葉学園です。

障害児（者）緊急一時保護事業

家族が病気等の理由で、障がいのあるお子さんの家庭での介護ができない時のショートステイ事業です。身体障害者手帳または愛の手帳所持が条件で、事前の登録が必要です。